

「SNW対話イン九州大学 2018」 事後アンケート結果 (平成 30 年 12 月 10 日開催)

纏め：梶村 順二

*参加者（アンケート回収数 19）

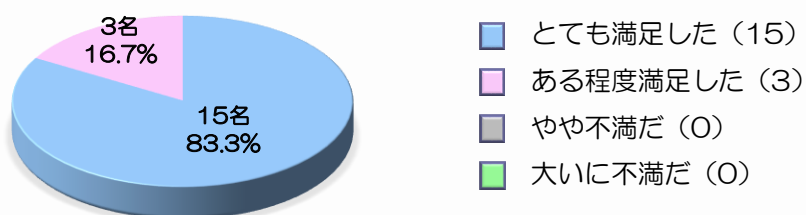
（内訳）

- ・大学3年・・・5名
- ・大学4年・・・6名
- ・修士1年・・・5名
- ・修士2年・・・2名
- ・博士1年・・・1名

		大学3年	大学4年	修士1年	修士2年	博士1年	計
就職	電 力	0	2	1	0	0	3
	原子力関連メーカー	0	0	2	0	0	2
	研 究 機 関	0	1	1	0	1	3
	そ の 他	0	0	2	1	0	3
進学	原子力系分野	5	3	0	1	0	9
	そ の 他	0	0	0	0	0	0
計		5	6	6	2	1	20

※ 就職先の重複回答者がいるため、合計値は全体数（19）と合致しない。

（1）講演の内容は満足のいくものでしたか？その理由は？



[とても満足した]

- ・多くの議論ができたから。
- ・原子力の現状、今後の原子力について理解できたから。
- ・事前の質問に答えていただいた。
- ・現状や未来の原子力産業にとっても希望が持てた。
- ・原子力の背景や将来性について深く知ることができたから。
- ・丁寧に十分な内容を聞くことができた。現状の基本的な事実を確認できた。
- ・新しい知見を得られた。
- ・非常に実りのあるもので、物理的なことは大学の講義で学べますが、歴史など大学で学べないものを多く知れました。
- ・歴史から現状、課題まで丁寧に講演いただけたため。

- 齋藤先生に素晴らしい講演をしていただけた。
- 原子力に対する自分の認識をあらためて確認することができた。
- 疑問に思っていたことが明らかになった。

【ある程度満足した】

- 時間的な制約がある中で、学生側が知りたいことを回答していただいた。
- 短い時間の中で幅広く原子力の流れについて知ることができたから。

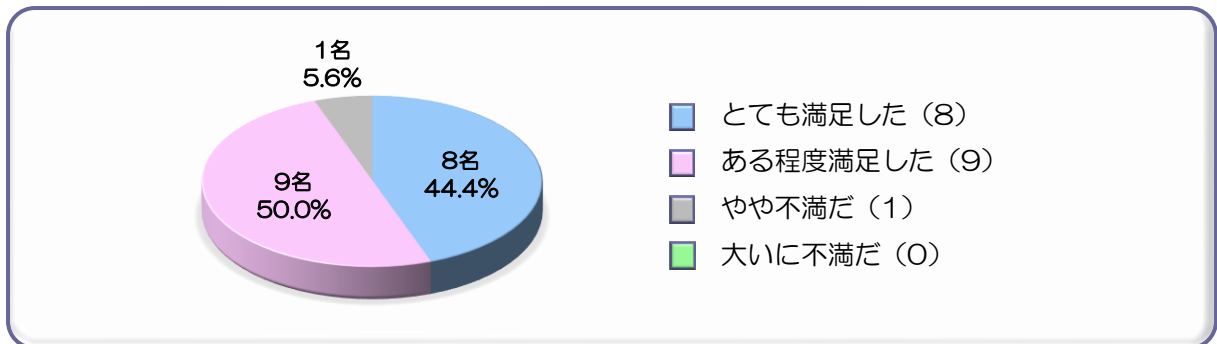
【やや不満だ】

- 特になし。

【大いに不満だ】

- 特になし。

(2) 対話の内容は満足のものでしたか？その理由は？



【とても満足した】

- ・直接、第一線で活躍してきた方のお話を聞けたため。
- ・長年原子力に携ってこられた方々のお話しが聞けたから。
- ・自身の特に興味のあることに関してグループ分けがあったことで、有意義な対話になった。
- ・専門家の方と面と向かって話すことがめったにないので、非常に良い経験になりました。
- ・1時間かけて疑問に思っていたことをしっかりと聞くことができた。

【ある程度満足した】

- ・原子力について、経験がある方から疑問に思っていたことを詳しく聞くことができたから。
- ・大変満足したが、もう少し時間が欲しかった。
- ・質問したことの回答が得られた。時間が少し不足していた。
- ・時間的に、個々に1つほどの質問に対してしか答えていただけなかったから。
- ・知見を多く得ることができたため。
- ・2度ファシリテーション用紙を書くことに疑問を覚えた。
- ・再処理工場の問題発生理由が分かった。
- ・現場の話が聞けたので。

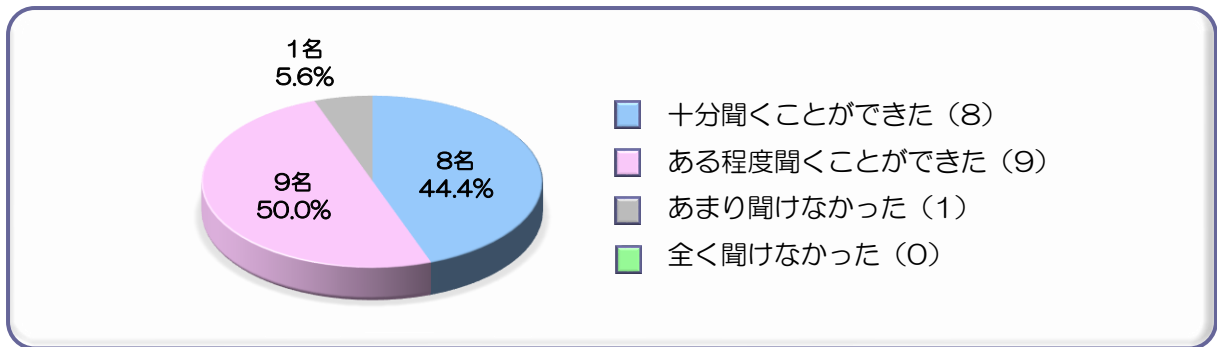
【やや不満だ】

- ・時間の都合で十分な議論ができなかった。ファシリテーション用紙を2度書く機会があり、異なる内容となってしまったために、十分な話ができなかった。

【大いに不満だ】

- ・特になし。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか？



[十分聞くことができた]

- ・高速炉の新設について聞くことができた。
- ・満足いくまで聞けました。もう少し時間があればよかったと思います。

[ある程度聞くことができた]

- ・質問事項をまとめた分に関してはよかったが、対話する中で生まれた質問に関しては十分に聞く時間がなかった。
- ・事前質問においてで十分であるように感じた。当日の対話での新たな知見は少なかったように感じる。

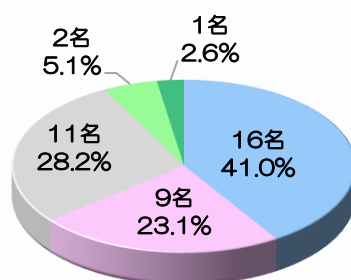
[あまり聞けなかった]

- ・基調講演に遅れて参加したから。

[全く聞けなかった]

- ・特になし。

(4) 今回の対話で得られたことは何ですか？(複数回答も可)

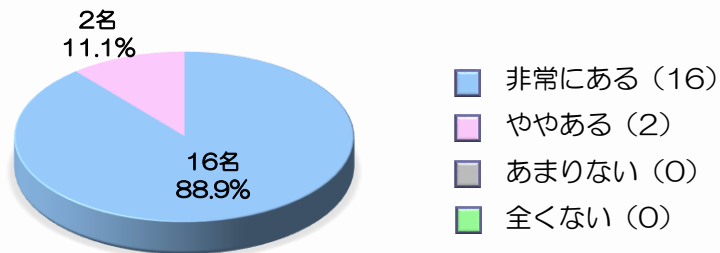


- 新しい知見が得られた (16)
- マスコミ情報と今回の対話会情報に違いがあった (9)
- 自分の将来の進路の参考になった (11)
- 教育指導の参考になった (2)
- 特に新しい知見は得られなかった (0)
- その他 (1)

[その他]

- ・ 日本の展望が聞けた。

(5)「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか？その理由は？



【非常にある】

- 原子力についてのよい教育ができる。
- シニアの方々と対話することで私達も将来について深く考えることができるから。
- 経験者の話を聞くことは非常に有益だから。
- face to face がとても大事だから。
- 業界の方々と直接話せる貴重な機会だと思ったから。
- 座学で学べることの、知識のブラッシュアップや新たな知見が得られる。
- 技術や知識だけでなく、シニアからの思いを直に感じられると思った。
- 単に学ぶだけではなく、アウトプットしながら新しい知見を得る場として重要であると感じたから。
- 特に原発に無関心な人々にやるべきとも感じました。
- 座学で得られない実感が得られるため。
- 知識を持たない学生や進路を迷う学生に大いに参考になる。
- 現場などでの正確な情報を知ることができる。
- 原子力について、勉強する意義を確認できた。

【ややある】

- シニアの考えを聞くことは、自分よりも何十年も経験してきた方の考えなので、参考になる。
- 事前質問に関しては非常に意義があると思った。

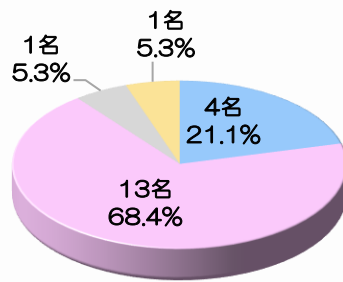
【あまりない】

- 特になし。

【全くない】

- 特になし。

(6) 今後、機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか？

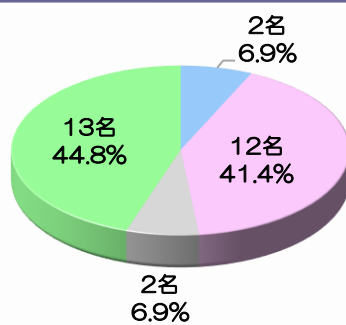


- まだまだ話したりないので参加したい（4）
- もっと知識を増やしてから参加したい（13）
- 十分話ができたらもういい（1）
- 二度も必要ないと思うからもういい（0）
- その他（1）

[その他]

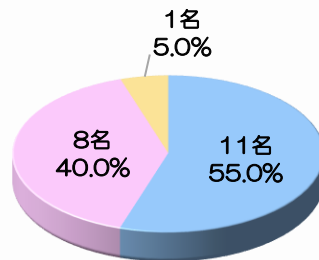
- ・ 来年聞いてみたいことが改めて浮かべば、また聞きたい。

(7) 放射線、放射能に対してどのようなイメージを持っていますか？（複数回答も可）



- 放射線、放射能はやはり怖い（2）
- 一定のレベルまでは恐れる必要はないと以前から知っていた（12）
- 一定のレベルまでは恐れる必要がないことを講演、対話から理解できた（2）
- 放射線、放射能は生活に有用であることを以前から知っていた（13）

- (8) 日本のエネルギー政策では、原子力発電を基幹電力（2030 年に発電電力量の 20～22%）とし、省エネ・再エネ利用の拡大や火力の高効率化により、可能な限り削減していくとされています。対話も含めてあなたの認識は次のどれですか？その理由は？（複数回答も可）



- ☒ 原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない（11）
- ☒ 原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった（8）
- ☐ 原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ（0）
- ☐ 原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい（0）
- ☐ その他（1）

〔原子力発電の必要性を強く認識した。削減又は撤退すべきでない〕

- ・国家的に資源のない日本は原子力を続けるべき。
- ・持続的な社会を実現するために、原子力が必要だと思った。
- ・原子力発電はいかにコストが安価で、放射性廃棄物処分の方法も難しくないことが分かった。
- ・我が国は資源がなく、将来的に資源が枯渇することを考えると、原子力発電は欠くことのできないものであるから。
- ・脱炭素化は必ず必要だという認識から。
- ・エネルギー効率の面から必要であると思うから。

〔原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった〕

- ・原子力は必要であるが、やはりそれを国民にいかに理解してもらうかが難しい。
- ・技術的にも現実的にもベースロード電源の位置づけが適当であるという考えが強まりました。

〔原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから早期に削減又は撤退すべきだ〕

- ・特になし。

〔原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えばよい〕

- ・特になし

〔その他〕

- ・基幹電力としての必要性は認識しているが、原発が基幹電力となり得るためには規制の緩和や増設が必要になり困難であるとする。

(9) 本企画を通して全体の感想・意見などがあれば自由に書いてください。

- 非常に有意義な時間が過ごせてよかった。
国民がいかに正しく情報を伝達し、共有することが重要であることが分かった。
- 原子力に関する知識を増やしてからまた参加したい。
- 準備にかなり手間取ってしまいましたが、無事に終了できて良かったです。有難うございました。